

～未来に向けてイノベーションを学ぶ～



平成29年度 US-JAPAN FORUM主催 www.usjapanforum.org 国内大学連携 カリフォルニア・イノベーション研修

【日程】平成29年9月9日(土)～9月18日(月)

【内容】本プログラムは、US-Japan Forumと複数の国内大学による合同海外研修プログラムで、米国の多民族文化と科学技術のメッカでもあるカリフォルニア州サンノゼ市近郊のシリコンバレーを中心に、米国の大学や企業を訪問し、異なる文化や価値観を学びます。また海外で活躍する起業家やコンサルタントによる講演会、研究者や技術者とのディスカッションを行い、国際的な広い視野を身につけると共に、人生や勉学に対する目標を定め、自己実現の基礎とすることを目的とします。さらに、サンノゼ州立大学にて開催する「日米未来フォーラム」に参加し、日米間の歴史を学び、今後の日米関係や世界のあるべき姿についてのディスカッションと発表を行います。

【研修日程】

- ・日本出発 9月9日(土) 同日 サンフランシスコ到着
- ・第1日目(土) オリエンテーション、企業研修報告会
- ・第2日目(日) オリエンテーション、英語研修、講演会(シリコンバレーでの起業)
- ・第3日目(月) サンノゼ州立大学訪問(世界の課題ディスカッション、学生交流、キャンパス見学)
NeuroSky訪問、テックミュージアム訪問
夜: 講演会(日米技術イノベーションの融合)
- ・第4日目(火) インテルミュージアム、Google、NASA、Apple訪問
夜: 講演会(米国バイオ産業の現状)、JBC(Japan Bio Communication)セッション
- ・第5日目(水) 日米の歴史を学ぶ(ゴールデンゲートブリッジ、リンカンパーク、戦争記念オペラハウス、ユニオンスクエア)
カリフォルニア大学バークレー校(キャンパス見学、研究室訪問、講義、学生交流)
- ・第6日目(木) スタンフォード大学(キャンパス見学、医学部、工学部などの研究室訪問、講義)
夜: 講演会(日系移民)、日本人プロフェSSIONナルによるパネルセッション
- ・第7日目(金) 日米未来フォーラム 参加・発表
- ・第8日目(土) 自由学習日
- ・サンフランシスコ出発 9月17日(日) 日本到着 9月18日(月)

【資格】学部生または大学院生。 募集人数は各大学から若干名とし、書類審査を行う。

【費用】研修に係る主たる費用は参加者負担とする。

1) 現地研修に関する費用 約200,000円

宿泊費、現地交通費、会場費用、受講料含む (ホテルは相部屋・朝食付き)

2) 渡航に関する費用 (別途各自負担)

渡航費用(往復)、パスポート申請費用、ESTA申請費用、海外旅行傷害保険

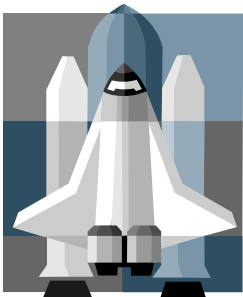
※ 食費、休日の交通費、土産代などは別途各自負担

【備考】パスポート及びESTA申請、海外旅行傷害保険への加入は、参加者が研修参加決定後に各自で行うこととする。訪問先は相手先の都合で変更になる場合があります。

【申し込み先】自身の所属部局担当係まで必要書類を提出すること

【申し込み締切】平成29年5月下旬頃(自身の所属部局担当係に要確認)

～海外企業研修からプロフェッショナリズムを学ぶ～



平成29年度 US-JAPAN FORUM主催 www.usjapanforum.org 国内大学連携 グローバルプロ養成プログラム

【日程】平成29年8月23日(水)～9月23日(土)

【内容】本プログラムは、US-Japan Forumと複数の国内大学による合同海外研修プログラムで、将来国際的な場で活躍できる研究者、技術者、医師、教育者、起業家、弁護士、会計士などグローバルプロフェッショナル養成のための企業研修として、米国シリコンバレー近郊の企業や教育機関にて、海外で活躍する日本人の指導を受けながら2週間の夏季実習を体験します。後半はイノベーション研修に参加し、米国の大学やベンチャー企業などを訪問し、異なる文化や価値観を学びます。また、海外で活躍する起業家やコンサルタントによる講演会、研究者や技術者とのディスカッションを行い、国際的な広い視野と専門知識の習得を目的とします。

- 【研修先】
- 1) Stanford University (<http://med.stanford.edu/school/Psychiatry/scn>) 医学部の睡眠研究所
 - 2) Stanford University (<http://mips.stanford.edu/research/mbil.html>) 光医学分子イメージングの研究所
 - 3) Lynbrook High School (<http://www.lhs.fuhisd.org>) 地元高校の日本語クラス
 - 4) 三育学院サントクララ校 (<http://www.saniku.org>) 日本語補習校
 - 5) NEDO (<http://www.nedo.go.jp>) 国立研究開発法人
 - 6) NeuroSky, Inc. (<http://www.neurosky.com>) 脳波を用いた制御機器の開発
 - 7) Tabuchi Electric Co., Ltd. (<http://www.zbr.co.jp>) 電気自動車・太陽光発電用インバータなどの開発製造
 - 8) ZL Technologies, Inc. (<http://www.zltech.com/JP/company/about>) 企業情報管理ソフトウェア
 - 9) VIVALDI Technologies LLC (<https://vivaldi.com>) ウェブブラウザの開発
 - 10) zLibro Inc. (<http://1dollarscan.com>) ブック・スキャン・サービス
 - 11) PASONA N A, Inc. (<http://www.pasona.com>) 人材派遣・就職支援サービス
 - 12) SunBridge USA (<http://www.sunbridge.com>) ビジネス・インキュベーション
 - 13) DraperNexus (<http://www.drapernexus.com>) ベンチャー投資
 - 14) InfiniteBio (<http://www.infinitebio.com>) ライフサイエンス分野のビジネスコンサルティング
 - 15) IACE Travel, Inc. (<http://www.iace-usa.com>) 旅行会社
 - 16) San Jose Japan Town Business Association (<http://www.japantownsanjose.org>) 日本人町商工会
 - 17) US-Japan Forum (<http://www.usjapanforum.org>) ソーシャル・ソリューション事業 企画・運営
- 上記合計17機関にて約20名を受け入れ予定(最新の受け入れ機関はウェブページの研修一覧を参照のこと)

【訪問先】 Google, Apple, Intel, NeuroSky, NASA, Tech Museum

スタンフォード大学、UC バークレー、サンノゼ州立大学、サンフランシスコ市内史跡訪問など

【資格】 学部2年、3年、4年又は大学院生で、担当教授の推薦を受けた者。

各大学から若干名を募集し、受け入れ人員は各研修機関で1名～2名。

【費用】 研修に係る主たる費用は参加者負担とする。

1) 現地研修に関する費用 約380,000円

宿泊費、現地交通費、会場費、通信費、受講料含む (ホテルは相部屋・朝食付き)

2) 渡航に関する費用 (別途各自負担)

渡航費用(往復)、パスポート申請費用、ESTA申請費用、海外旅行傷害保険

※ 食費、休日の交通費、土産代などは各自別途負担

【備考】 パスポート及びESTA申請、海外旅行傷害保険への加入は、参加者がプログラム参加決定後に各自で行うこととする。訪問先は先方の都合で変更になる場合があります。

【申し込み先】 自身の所属部局担当係に必要書類を提出すること

【申し込み締切】平成29年5月下旬頃(自身の所属部局担当係に要確認)